

一 般 質 問

指名競争入札は今のままで良いのか！ 防災センターの有効活用を！

小 田 貞 利 議員

問 20年度の入札において、すでに6件の最低価格での入札があり、くじ引きにより落札されている。いずれも60%前半での落札であり価格的にも、くじ引きという方法にも問題があるのでは？ 町の考えを問う。



答 本年度国、県に於いては調査価格の改正が行われており、本町も最低制度価格の見直しについては、検討を重ねており、指名審査会でも協議を行っている。落札者の決定については、同札の場合はくじにより執

行していくが、最低制限価格の公表については再考協議してゆく。

問 10月末に防災センターが完成。今後のセンターの運用は本町にとって最重要課題と考える。東南海地震に備え、広く町民に啓発活動を行い、二次災害をおこさない為の拠点施設として期待しているが、町の考えは？

答 通常は、維持管理、利用、研修、イベントの開催、情報提供などの自主業務が主な用務。大規模災害発生の場合は、県主導で災害対策本部が設置される。センター職員は、基本的には町職員以外の雇用だが、町職員も積極的にその業務に関わり連携をもって、有効活用を図って参りたい。



防災センター

沖浦地区の環境整備の促進を！

広 田 清 晴 議員

問 開作新開上浜線は、交差点協議等で遅れているが、分割発注も視野に早期完成を求める。



答 (町長) 平成21年度完成予定。本年度施行延長560mは現在、発注準備を進めている。分割発注も視野に入れている。

問 志佐火葬場の早期撤去と跡地整備を求める。

答 (町長) 火葬場廃止の許可申請の後、解体を含めた処分について対応する。

問 県道、横見戸田間、カーブの危険箇所は

既に1年間放置されたまま。戸田地区のバラベツトも危険な状況。早期改修を求める。

答 (部長) カーブの危険箇所の改修は、再度申し入れる。特に戸田地区のバラベツト改修は、街なかなので、強く申し入れる。

問 学校給食、町立病院、福祉施設に地元農産物の活用推進を求める。

答 (町長) 今年度は橘地区でも給食センター、看護学校など納入開始。今後、種まきから、予想収穫時期、収穫量の情報提供を行い、推進する。福祉施設でも使用できるよう努力する。

その他 平和を発信する町作りでは、「非核自治体宣言にふさわしい取り組みを行う」との事。世界平和市長会議の参加については「現段階では参加しない」との答弁。

